

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり11.3人と増加して、**注意報レベル**(定点当たり10.0人)を超えました。安芸区、佐伯区、東区、中区、安佐北区で注意報レベルを超えています。また1月13日(第3週)、広島市で今シーズン初めての「集団かぜ」による学級閉鎖が報告されました(南区の小学校)。寒い日が続いていますので、健康管理に十分注意し、手洗い・うがいの励行など感染予防に心がけてください。

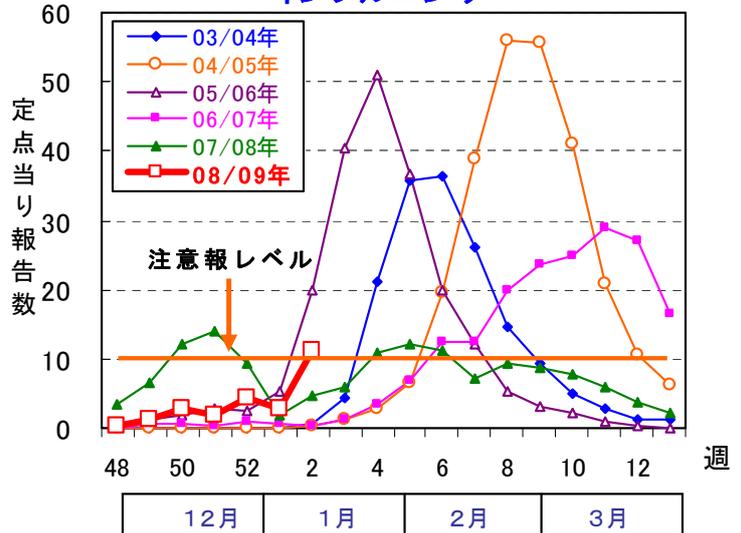
2. 感染性胃腸炎

定点当たり14.8人とやや減少していますが、多い状態が続いています。安芸区29.5人、安佐北区25.0人と特に多く、他の区でも多くなっています。また、9月以降、18件(うち14件がノロウイルスと判明)の集団感染が報告されています(1月9日現在)。

3. 水痘

定点当たり3.58人とほぼ横ばいとなっており、多い状態が続いています。

インフルエンザ



(注)第1週は、定点医療機関の年末年始休診のため報告数が少なくなっており、第2週の各疾患の増減の評価及び「5類感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示は、前々週(2008年第52週)との比較で行っています。

■5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平過去5年平均(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平過去5年平均(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	417	11.27	5.16	▲	ヘルパンギーナ	-	-	0.04	
咽頭結膜熱	8	0.33	0.37		流行性耳下腺炎	10	0.42	0.98	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39	1.63	1.03	◁	RSウイルス感染症	5	0.21	0.53	◁
感染性胃腸炎	355	14.79	15.29	◁	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	86	3.58	3.25	▶	流行性角結膜炎	7	0.88	0.65	
手足口病	3	0.13	0.12		細菌性髄膜炎	-	-	0.06	
伝染性紅斑	9	0.38	0.27		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.03	
突発性発しん	17	0.71	0.88		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.31	
百日咳	1	0.04	0.02		クラミジア肺炎(注3)	-	-	-	

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	▶	◁	ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間(RSウイルス感染症は4年間の同時期平均(定点当り))
 (注2)鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く
 (注3)オウム病を除く

■1類~5類感染症報告状況(全数把握対象分)

報告はありません。

■5類感染症報告状況の推移(定点把握対象分)

報告数	広島市	第50週 第51週 第52週	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (注2)
			101	10	55	429	82	-	9	20	4	1	9	46	-	3	-	-	-	2
73	8	48	524	68	1	4	15	4	-	5	16	-	1	-	-	-	3	-		
164	2	48	632	92	4	6	14	4	-	9	15	-	3	-	-	-	-	-		
99	-	23	208	46	2	3	8	1	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-		
417	8	39	355	86	3	9	17	1	-	10	5	-	7	-	-	1	2	-		
2.73	0.42	2.29	17.88	3.42	-	0.38	0.83	0.17	0.04	0.38	1.92	-	0.38	-	-	-	0.29	-		
1.97	0.33	2.00	21.83	2.83	0.04	0.17	0.63	0.17	-	0.21	0.67	-	0.13	-	-	-	0.43	-		
4.43	0.08	2.00	26.33	3.83	0.17	0.25	0.58	0.17	-	0.38	0.63	-	0.38	-	-	-	-	-		
2.68	-	0.96	8.67	1.92	0.08	0.13	0.33	0.04	-	-	0.08	-	-	-	-	-	0.57	-		
11.27	0.33	1.63	14.79	3.58	0.13	0.38	0.71	0.04	-	0.42	0.21	-	0.88	-	-	0.14	0.29	-		
6.52	0.40	1.96	13.88	2.41	0.23	0.09	0.54	0.03	0.04	0.55	0.79	0.02	0.65	0.02	0.01	0.01	0.47	0.05		
5.36	0.22	0.64	4.99	1.46	0.07	0.03	0.21	0.01	0.02	0.25	0.36	0.01	0.19	0.01	0.02	0.16	-	-		

(注1)鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く (注2)オウム病を除く

■新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	46	男	2008/12/18	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	7	女	2008/12/20	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	85	女	2008/12/25	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	3	男	2008/12/19	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	7	男	2008/12/23	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	35	女	2008/12/26	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	5	男	2008/12/30	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	1	男	2008/12/30	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
咽頭結膜熱	2	男	2008/11/16	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB3型

【参考】インフルエンザの注意報レベルを超えた時期からピークまでの期間(広島市)

シーズン	注意報レベルを超えた時期 (定点当り10人以上となった週)	ピーク		
		ピークとなった週	定点当り報告数(人)	注意報レベルを超えた時期からピークまでの期間
1999/00	第2週(1月10日～1月16日)	第4週(1月24日～1月30日)	50.7人	2週間
2000/01	-	第11週(3月12日～3月18日)	2.84人	-
2001/02	第4週(1月21日～1月27日)	第8週(2月18日～2月24日)	47.7人	4週間
2002/03	第51週(12月16日～12月22日)	第3週(1月13日～1月19日)	36.4人	4週間
2003/04	第4週(1月19日～1月25日)	第6週(2月2日～2月8日)	36.2人	2週間
2004/05	第6週(2月7日～2月13日)	第8週(2月21日～2月27日)	55.8人	2週間
2005/06	第2週(1月9日～1月15日)	第4週(1月23日～1月29日)	51.1人	2週間
2006/07	第6週(2月5日～2月11日)	第11週(3月12日～3月18日)	29.0人	5週間
2007/08	第50週(12月10日～12月16日)	第51週(12月17日～12月23日)	14.1人	1週間
2008/09	第2週(1月5日～1月11日)			

1999/00シーズンから2007/08シーズンまでの中で、注意報レベルの定点当り10人以上となった週からピークとなった週までの期間は、注意報レベルに達しなかった2000/01シーズンを除いて、1週間～5週間で、平均すると2.8週間となっています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp